

あだちどまんなか



中島根

平成30年2月28日

足立区立中島根小学校

校長 武井 利依

平成29年度3月号

しかい ひ そ な ところ し つき そ よ ところ わす な
子夏曰わく、日に其の亡き所を知り、月に其の能くする所を忘る無きは、
がく この い
学を好むと謂うべきのみ。

校長 武井 利依

平昌五輪とともに2月が過ぎ、今年度もひと月を残すところとなりました。ビオトープそばではふきのとうが顔を出し、校庭のあちらこちらにも春の兆しが見られます。東京五輪のマスコットについての各学級での話し合いの結果、ア・イ・ウそれぞれに7・6・3学級が投票しました。このような取り組みから来る東京五輪への期待が高まります。

先週末は、コーラス部がトップバッターを務めた研究演奏会、児童・生徒褒賞表彰式、百人一首大会、と今年度の締めくくりにあふさわしい活躍の場が多くありました。また、今年度最後の土曜授業では、各学年が様々な体験活動をしました。その前後の2週間にわたり、2年生が中島根郵便局を開き、みんなの思いが詰まったハガキを届けてくれました。校長室に届いた便りを嬉しく読みました。その中から一つ紹介します。

「寒いですが、お元気ですか？小学校生活もあともう少しです。妹もお世話になっております。私は(2年生から)はがきをもらって、最初だれに書こうかな？と思いました。そしたら、校長先生が朝会のときに(郵便番号が)『777-7777』と言っていたのを思い出したので校長先生に書こうと思いました。妹が昨年、校長先生に出したと言っていたので、どんなことを書こうか迷いました。ふだんあまりしゃべらないのでいい機会だと思いました。こんな機会をくれた2年生のみなさんにも感謝しています。本当はもっと話したいことがありますが、また、(卒業)会食の時に話したいと思います。お仕事などをがんばってください。」

人柄がにじみ出ていて、心遣いにあふれ、温かい気持ちになりました。子ども達の心の中には伝えたい気持ちがあり、この機会を生かして誰かに思いを伝えることができたと思います。

今年度最終月の論語は、弟子の子夏の言葉です。「毎日、自分が知らなかったことを新たに知るようにし、毎月、自分が覚えていること、できていることを復習して忘れないようにする。こうすれば、学を好むといえる。」という内容で、頑張っている人々が思い浮かぶ章句です。

平昌五輪では、数々の記録だけでなく選手のみなさんが多くの言葉を残してくれました。選手団主将でもあり3大会連続出場の小平奈緒選手の言葉に感銘を受けました。「自分の氷としっかり対話して、とにかく自分の好きなようにこの氷を味わおうと思って滑りました」「成長するというのは、学びが多いということ」「金メダルは名誉ですが、どういう人生を生きていくかが大事」これらはごく一部ですが、このようなキラキラ輝く記憶に残る言葉をすべての選手が伝えてくれました。自分を信じて努力をいとわず真摯に競技と向き合っているからこそ自信につながっているのだと感じます。子ども達にも自分がしてきたこと、しようと思っていることを自分にふさわしい言葉で自信をもって伝えられる人になってほしいと願っています。

最後に、小平選手が以前話された言葉を紹介し、結びとします。

「『永遠に生きるかのように学べ、明日死ぬかのように生きろ』というガンジーの言葉のようにシーズンを送りたい、私にとってのスケートは『学び』なので、自分のレースを一生懸命やった後はしっかりと他の選手の滑りを学んで必ず超えたいなと思いました。」

3月の生活目標：身の回りの整理・整頓をしましょう

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 SC 感謝する会6年 4時間授業1～5年	3
4	5	6 SC短 安全指導 ハッピー タイム	7 4時間授業1～5年 キャリア教育校外学習6年 (6時間授業)	8 保護者会 1～5年	9 SC・SSW シェイクアウト訓練	10
11	12	13 SC 地域班活動	14 委員会活動	15	16 SC 大掃除	17
18	19 卒業式予行5・6年 4時間授業1～4年 給食終	20 SC 4時間授業 給食なし	21 春分の日	22 修了式 4時間授業 給食なし	23 卒業式5・6年 (1～4年は 休業日)	24
25	26 春季休業日始 (4月5日まで)	27	28	29	30	31
※SCはスクールカウンセラー、SSWはスクールソーシャルワーカー来校日です。 ※短は、短縮時程です。						

※3月中に1回、日時予告なしの避難訓練を行います。

6年生を送る会



特別活動主任 米田 陽一

2月27日、6年生を送る会が行われました。この日は続けて、お別れたてわり班給食、最後のたてわり班活動もあり、5年生までの児童にとっては1年間ともに過ごした6年生にあらためて感謝の気持ちを伝える機会となりました。

送る会では、各学年が一生懸命に練習したお祝いのおし物を贈り、6年生のみならず会場全体が楽しくあたたかい雰囲気になりました。代表委員会では5年生が中心となって、司会や贈ることば・お祝いのお花などの係で、充実した送る会になるようがんばることができました。

お別れ給食では、各学年が手分けをして6年生を迎えられるよう準備をし、メッセージカードを贈り、楽しく会食をすることができました。

6年生のみなさんには、卒業が近づいてきましたが、在校生に向けて最後によいお手本となるよう続けてがんばってほしいと願っています。



男子サッカー大会

八百秀明・近藤裕良・山下昌人

1月14日(日)に男子サッカー大会の予選リーグが行われ、2勝することができ、予選突破という結果になり、本大会出場が決定していました。しかし、本大会は2週続いた積雪の影響で中止となってしまいました。練習の成果を発揮する本大会ができなかったことは残念でした。しかし、校内で5年生対6年生の試合を行うことにしました。当日は、先生方も加わり、楽しい中にも真剣に取り組んでいる子供たちの姿が見られました。

これまで練習や試合の中でのチームで協力することを学び、培ってきた頑張る気持ちをこれからのことに活かしてほしいと思います。

女子サッカー大会

米田陽一・壽福 翼・山下昌人

2月10日(土)に女子サッカー大会が行われました。予選リーグの2試合を戦いましたが、残念ながら予選敗退となりました。しかし、結果以上に「何かに精一杯取り組むということ」「チームで力を合わせるということ」という面で素晴らしい経験をすることができました。これからあらゆることにチャレンジする際、一生懸命サッカーに取り組んだことを思い出してほしいです。きっと勇気を与えてくれるはずです。みなさんのこれからの期待しています。

今年度の足立区スポーツ大会を振り返って

体育主任 山本 和磨

女子サッカー大会で、今年度のスポーツ大会が全て終わりました。この1年間、中島根小学校では、水泳大会・陸上大会・男子サッカー大会・女子サッカー大会に参加しました。どの大会においても児童の真剣な表情が印象的でした。

来年度から移行期間となる新学習指導要領【体育】においては「心と体を一体として捉え、生涯にわたる心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフの実現を重視」と目標が示されています。

私は、児童が体育の学習やスポーツ大会への参加を通して、運動を好きになってほしいと思うのはもちろんですが、それをきっかけとして、様々なことに興味をもってほしいと考えます。

例えば、先日閉幕した平昌オリンピックで大活躍した選手がいた種目について、

「カーリングやパシュートって一体どんな運動なのかな」

「優勝した選手の国ってどんな国なのかな」

「カーリングではどうして氷を擦っているのだろう」

と考えることです。これが「生涯にわたる心身の健康」や「豊かなスポーツライフの実現」に繋がっていくのではないかと思います。運動の技能の獲得や上達が全てではありません。運動をきっかけにたくさんの経験を積み重ね、感性を磨いてほしいと思います。

最後になりましたが、今年度も中島根小学校の運動会や持久走大会などの体育的行事にご理解ご支援いただきましてありがとうございました。

来年度も改善しながら進めて参ります。よろしく願いいたします。

わくわくルーム・専科・講師から ～1年間を振り返って～

わくわくルーム 五十嵐 千晴

一人一人にあった指導形態で児童の近くで寄り添いながらお仕事をすることができて毎日幸せです。どの児童も「学校に来るのが楽しみ！」と思える学校生活を送れるようにこれからも職員一丸となって支援して参ります。



わくわくルーム 山下 昌人

担任の先生や保護者の方と力を合わせて、子どもたちの成長をすぐ近くで応援することができました。4月に見た一人一人の姿から大きく成長しています。来年度も子どもたちの幸せに向かって精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。



わくわくルーム 生島 靖裕

個別指導や小集団指導を通して子どもたちの成長を感じることができました。一人一人が教室で輝けるように支援を続けていきます。来年度も子どもたちの成長を期待しています。



わくわくルーム 山口 幸夫

ご指導されている先生方と学ぶ子どもたちを応援する立場として努めました。「わくわくルーム」での学習で子どもたちが少しずつ成長するのが感じられうれしく思います。



音楽 西野 由美子

歌の好きな子が増えるように、毎月「今月の歌」を決めてみんなで歌ってきました。体育館いっばいに子供達の歌声が響いた時は、とても幸せな気持ちになります。これからも子供達が笑顔で元気よく歌ってくれるように頑張ります。



養護 小林 真紀子

いつも元気な子どもたちのおかげで、とても平和な1年間を過ごすことができました。子どもたちが、健康に毎日を過ごせるようにこれからもがんばっていききたいと思えます。どうぞよろしくお祈りします。



図画工作 米田 陽一

子どもたちが自信をもって「こうしたい！」とすすんで活動し、のびのびと表現できる図工の時間を目指しています。子どもたちの変容を見守り支援できるようにがんばります。



算数少人数 豊島 悠

3年生から6年生までの算数の授業を担当させていただきました。得意・不得意に限らず、一人一人が「分かった！」という達成感が得られるような算数をおこなっていききたいと思えます。



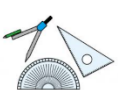
家庭科・1年書写 大橋 美智子

家庭科では、衣食住生活だけでなく家庭や地域とのかかわり、環境や消費生活のことなどについても学習してきました。家庭や社会の一員としての自覚をもち自分にできることを見つけて実行できるようになることを願っています。1年の書写では常に姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書くようにしてきました。他教科でも字形を整えて書くようになることを願っています。



算数少人数 鈴木 愛一郎

学ぶ楽しさは、新しい発見があるかどうかによって変わってくると思えます。中島根の子どもたちは、「今日は何んなことを勉強するんだろう。」という顔をして第2算数学習室に来てくれます。新しい発見があると、「そうか。」「なるほど。」という顔をしてくれます。これから先もこのようなみずみずしい感性を大切に、どんな勉強でも好きになってほしいと願っています。



3年理科・算数 1・6年図書 三浦 まり子

3年の理科で虫や植物を育て熱心に観察をしました。実験では「どうなるのかな？」とわくわくしながら楽しく学習ができました。算数では「わかるまでやろう」と、放課後頑張った人もいました。図書の時間は、本の紹介や読み聞かせをしてきました。「今日は何んな本を読んでもくれるのかな？」と楽しみにしている子が多かったです。毎日が、とても充実した1年間でした。



3年算数 野口 朋子

振り返ってみると、あっという間の1年間でした。学校では、楽しいことも「苦手だな」とおもうこともあるとおもいます。学習は毎日・毎時間の積み重ねです。算数科や外国語活動を通じて、どんどん意欲的になっていく姿を見て嬉しく思います。これからも共に成長していけるように努めていきたいです。



そだち指導 益子 芳子

2・3・4年生の子どもたちに国語と算数の個別指導をしています。苦手なところを少しでも減らせるよう教材選びなど工夫しています。「わかった！」という子どもたちの笑顔に出会えるようにしたいです。



そだち指導 一瀬 法子

2階のマスタールームで、算数と国語の個別指導をしています。苦手なことが少しでもわかるようになるのをお手伝いしています。笑顔で帰っていく姿を見ると、私までうれしくなります。

